

◆岐阜・高山で見た

建設業の複業化

地域を守っていくためには、地域に根差した建設業が今後も地域に存在し続けていく必要がある。経営を継続する手段の一つは、建設業以外にも本業を持つ複業化だ。新事業の開拓などに取り組む建設業と、その支援者で組織する建設トップランナー倶楽部幹事会が、岐阜県高山市内の建設業の複業化を視察した。同行取材により、農業に参入した和仁建設と、林建協働に取り組むたかやま林業・建設業協同組合の二つの事例を2回に分けて伝える。

<上>

「何を誰に、どんな手段で、いくらで売るか。これらを徹底的にマネジメントしてから本格的な生産に入ることにしている」。和仁建設(岐阜県高山市上宝町)の和仁松男社長は、グループ会社である和仁農園の経営についてそう話す。

土木の工程管理活用

耕作地のせまい中山間地域は、農業にとっても条件は不利だ。そんな地域で和仁農園は、土木工事の工程管理や原価管理、品質管理、安全管理の手法を導入し、コメ作りを中心に、農家が一般

的に行っている慣行農法なると最低気温が下が耕作面積あたりの収穫量とはまったく違った農業を展開している。出るよつに6月中旬以降

有機栽培のコメは徹底して食味にこだわり、「コメ」と話す。田植え時期の食味分析鑑定コンクールの国際大会で金賞受賞を重なるようになった。注文は電話やファック

注文は電話やファック。耕作を1カ月ずらす。ス、インターネットで料亭やレストラン、個人から入ってくる。個人の購

耕作面積あたりの収穫量だき、2000年から、耕作放棄地の再生や耕作を手掛けるかたちで農業に参入した。09年に設立した和仁農園の正社員は現在9人。12年度は、86人の地権者から借り受け

慣行農法では、コンヒカリの場合、追肥などを行い、10ヶ当たり600以上を目指す。しかし和仁農園では、適正量とされる460を基準に、追肥を行わず、有機栽培の農法を採用している。

耕作を1カ月ずらす。和仁農園では、適正量とされる460を基準に、追肥を行わず、有機栽培の農法を採用している。

和仁建設の農業参入

広がる中山間地振興の可能性

耕作地のせまい中山間地域は、農業にとっても条件は不利だ。そんな地域で和仁農園は、土木工事の工程管理や原価管理、品質管理、安全管理の手法を導入し、コメ作りを中心に、農家が一般

入者も、ほとんどがリビ入者も、ほとんどがリビからさまざまな仕事を端

耕作放棄地に危機感

従来の農業と具体的にどう違うのか。和仁氏は「コメは穂が出る時期に寒暖の温度差が大きくなると食味が増す。9月に食味を保つためには、

和仁氏は、雇用を確保しなければならぬという思いとともに、耕作放棄地の増加に危機感をい

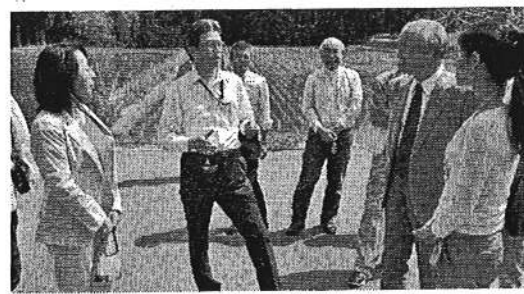
行政の補助制度も重要だった。補助制度によって現在、農産物の加工品の製造などにも取り組んでいる。

中山間地の耕作放棄地の発生防止のモデルとし

「子供たちが農業を理解して地元に残って通新聞社中部支社」比良

和仁農園は11年度、農業が、たかさんの楽しみや感動を得られる職業であることを伝えたい

和仁農園の取り組み



視察者に農法を説明する和仁社長(写真中央)

をかけても地元に残ることになる」と和仁氏は話す。

和仁氏は現在、農業体験を取り入れた観光も企画している。「住みたくなるような場として農村を保全し、農

和仁氏は現在、農業体験を取り入れた観光も企画している。「住みたくなるような場として農村を保全し、農

和仁農園は11年度、農業が、たかさんの楽しみや感動を得られる職業であることを伝えたい

◇岐阜・高山で見た

建設業の複業化

飛騨高山地域は地域の事はそう振り返る。93・3%を森林が占めている。そんな地域の林業関係者がこう言った。

技術を欧州に学ぶ

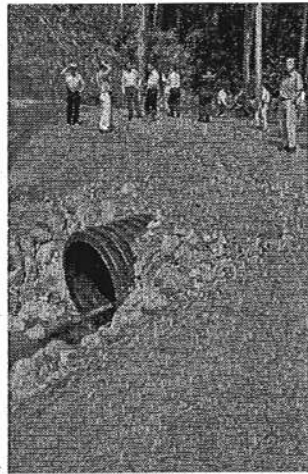
「公共事業が減って建設業は仕事がないだろう。しかし、林業にはた

2008年1月、林業と建設業が連携して作業道の整備や間伐を行う「林建協働」をテーマに開催した建設トップランナーフォーラムin岐阜

<下>

道の両側の横断方向に、縦断方向より急な勾配を付けることによつて、効果的に路外に排水を行い、激しい降雨があつても道が壊れないようにする。また、斜面に雨水を流す場合でも、直線的に流すのではなく、石によって流れを変化させ、斜面の崩壊を防ぐ。

魚などの生態系に配慮し、管渠を埋設した作業道



しかし問題もある。現状では、工事完成後であれば請負金額が決まらず、支払いを待つことになり、資金繰りが苦しくなる。

また、作業道は建設業、間伐は林業と、作業の内容によって労災の適用が変わることなども問題だ。

たかやま林業・建設業協組の林建協働

効率的な林業に転換へ

魚などの生態系にも配慮し、水路などを整備する。長瀬氏はこう話す。いわば、水のマネジメン

中長期でコスト管理

長瀬氏は建設業の林業への参入の在り方について「中長期的な時間をかけて建設業だからこそで

効率的で採算性・生産性の高い林業に転換していくべき」と話す。一方、参入後、短期間で明らかになった効果もある。それは建設業の安全衛生管理のノウハウによる労働災害の防止だ。

同組合の長瀬雅彦専務理

らざられていた。